

2017年2月6日

電通、リアルタイムデータ連動型デジタルサイネージの常時配信サービスを開始
— 天気・気温・時間・位置情報に応じてコンテンツを出し分け —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、株式会社電算システム（本社：東京都中央区、社長：田中 靖哲）、株式会社サイバー・コミュニケーションズ（本社：東京都中央区、社長：新澤 明男）と協業し、天気・気温・時間・位置情報などのリアルタイムデータと連動してコンテンツを出し分けるデジタルサイネージの常時配信サービスを開始します。第1弾は、「都営バスデジタルサイネージ事業」で、4月3日から配信を開始します。

現在、アウト・オブ・ホーム・メディア（OOH）広告の世界では、デジタルサイネージ市場が伸長しています。これまでは、事前に入稿したデータが決められた期間に流れるサイネージが一般的でしたが、今回採用したサイネージプラットフォームでは、Googleのクラウド技術などを利用し、その時の天気・気温・1分単位での時間、位置情報に応じて広告の出し分けができるようになります。周囲の環境に合わせたメッセージを表示できるため、より受け手に関連性の高い情報訴求が実現できます。

例えば、天気・気温・時間に応じた配信では、事前に設定した気温以上になったら冷たい商品を、設定した気温以下になったら温かい商品の広告を出すなど、今の状況にまさにマッチした広告が展開できます。また、位置情報と連動した配信では、イベントがあるエリア周辺への広告配信や、エリアごとに異なるコンテンツ訴求が行えます。

今後も当社は、日本におけるダイナミックデジタル OOH の新たな取り組みを積極的に推進してまいります。

以上

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション室 広報部
長澤、溪 TEL：03-6216-8041

【本サービスに関する問い合わせ先】

株式会社電通 OOH局
programmatic-oooh@dentsu.co.jp